

<創立十周年記念誌の要約>

宝達高校は昭和48年の4月1日に開校したのですが、石川県での開校決定は昭和47年12月28日の条例にて決定、つまり3ヶ月前に決まったばかりで、準備期間はほとんどなかったようです。校舎は昭和25年（戦後間もない、十分な物資が入手できない時期）に建設された旧押水中学校（昭和39年からは私立明德高校に移管）を使用し、閉校が決まっていた校舎は荒れ放題で、床が落ちたまま放置してある校舎は閉鎖棟として立ち入り禁止にしていたようです。開校後に授業をしながら、当時の教員と生徒は授業の合間や放課後に、廃棄物資を運動場に運び出し燃やして処理していたそうです。

入学式までに校旗、校章は完成しましたが、体育館の床は部活動ができる状態ではなく、照明もない状態でのスタートでした。入学式後の5月に開校式を行い、その後に体育館の床を張り替え、校歌が完成したのは翌昭和49年1月でした。そして、念願の普通教室や職員室のある新校舎（第一期）工事の完成は、開校から丸5年を経過した昭和53年4月です。

なお、創立記念日の日の決定は、祝祭日のない6月にするよう当時の教職員が提案したのではとの記述がありました。

令和4年5月

第二十三代校長 金岡 利宏